

Epo 使用群は入院時より術前まで平均950ml 貯血したにもかかわらず、入院時より術前が4~5%増大している。血小板、GOT、GPTについては、A群、B群には有意差はなかった。エリスロポエチンは、自己血輸血に極めて有用と思われた。

32. 膝関節半月板における MRI の応用

西川 悟, 有水 昇, 守屋秀繁
 西山秀木, 土屋明弘, 小野崎晃
 渡辺 泰, 南出正順, 清水 耕
 (千大)

1989年4月から11月の間に63例の膝関節疾患に対し、MRI を施行した。使用機種は、静磁場強度1.5テスラ超伝導 MR 装置で FOV 16cm, Thk 3mm, Nex 2.0 とし、SE 法を用いた。手術、関節鏡にて確認された、22症例を用い、MRI の半月板診断能について検討した。True positive 16例, false positive 1例, false negative 2例, true negative 16例であり、sensitivity 88.9%, specificity 94.1%, accuracy 91.4%と良好な結果を得た。MRI は非侵襲的である上に、膝半月板疾患に大変有用で、近い将来、診断の第一選択となりうると考えられた。

33. 膝半月板移植の基礎的研究

和田佑一, 守屋秀繁, 西山秀木
 土屋明弘 (千大)
 勝呂 徹 (東邦大)

F344, Lewis の2系の純系ラットを用いて2膝半月板移植実験を行った。移植後はF344間の Syngraft 群においては1年まで、F344と Lewis 間の Allograft (Minor mismatch) においては21週まで定期的に観察を続け組織学的に検討した。Syngraft 群においては移植後1年を経過しても移植半月板の骨と軟骨の内縁2/3が生着していた。Allograft 群においては、移植半月板には骨の吸収と軟骨の変性がみられ線維軟骨組織に置換されていく傾向がみられた。

34. 下肢長管骨転移癌の手術治療

木元正史 (千大)

下肢長管骨転移癌に手術治療を施した21例を腫瘍の切除群と非切除群に分け、今回考案の局所疼痛評価 (Local pain status; LS) および、癌治療学会 (小山・斉藤班) の全身状態評価 (Performance status; PS) で検討を行った。LS は、切除群・非切除群とも術前後で改善したが、非切除群では経過とともに疼痛の再現・

増強を認める傾向にあった。また術後3カ月の短期でも切除群の方が疼痛は、より緩和されていた。PS は、全経過で、両群に差異を認めなかった。以上より、荷重に耐える強固な固定を要する下肢長管骨転移癌の手術治療は、腫瘍の切除を行うのが望ましいと考えられた。

35. 3次元 X 線解析法を用いた腰椎回旋不安定性に関する研究

三村雅也 (千大)

腰椎回旋不安定性の病態を解明する目的で、健常成人24例、腰椎分離・すべり症21例、腰椎変性すべり症29例の腰椎回旋運動を2方向同時X線撮影による3次元解析装置を用いて解析し、以下の結果を得た。①腰椎分離・すべり症、変性すべり症の当該椎間の回旋可動域は正常群に比べ有意に増大していた。②回旋中心は腰椎分離症では前方に、変性すべり症では後方に移動していた。

36. twy マウス脊椎の骨増殖病変に対する生化学的免疫組織学的研究

山崎正志 (千大)

脊柱靭帯骨化症のモデル動物である twy マウスを研究材料として用い、脊柱における異常骨増殖病変の発症過程における I, II, III および XI 型コラーゲンの発現を免疫組織学的に検討した。また twy マウス由来の Bone cell の培養を行い DNA 合成能、コラーゲン合成能を検討した。抗 XI 型抗体では、成長軟骨領域の増殖層が限局的に染色された。この XI 型コラーゲンの発現はコントロールでは加齢とともに減少する傾向があったのに対し、twy マウスでは成熟後も抗 XI 型抗体に対して強い反応性を示した。また twy マウスの骨化の最前線に出現した線維軟骨様細胞の周囲は抗 I 型、抗 II 型のみならず抗 XI 型コラーゲン抗体に対しても強く反応した。以上より、XI 型コラーゲンの発現を伴った線維軟骨様細胞の出現は、twy マウス脊椎の異常骨増殖病変の発症および進展に密接に関与することが示唆された。

37. 悪性骨腫瘍に対する Kotz 人工関節の応用

石井 猛, 梅田 透, 小沢俊行
 (国立柏)
 鬼頭正士, 木元正史 (千大)
 高田典彦 (千葉県がんセンター)

Kotz のプロステーシスは、下肢骨腫瘍切除後の再建に用いられ、modular system, セメントレスタイプ・システムの2方向のサイドプレートにより強固な固定が可能、などの特徴をもっている。われわれは6例の原発性